

第4次芦屋市総合計画素案作成市民会議 第2回全体会 会議要旨

日 時	平成 21 年 10 月 3 日（土）午後 1 時 00 分～午後 5 時 00 分
場 所	消防庁舎 3 階 多目的ホール
出 席 者	市民会議委員 46 人，アドバイザー会議委員 5 人，副市長， 職員会議委員 22 人，その他の市職員 17 人
事 務 局	総務部行政経営課
会議の公開	公開
傍 聴 者 数	2 人

1 会議次第

【第1部】

(1) 開会

(2) 部会発表（準備 2 分＋発表 10 分＋質疑 8 分）×6 部会

パワーポイントを用い、部会メンバー全員が前に立ち、代表者もしくは部会メンバーの持ち回りにより発表を行った。部会の発表順については、部会長間での話し合いの結果、以下のとおりとした。各部会の発表後（質疑も終えた後）には、アドバイザー会議の委員から、担当部会についての補足のコメントをいただいた。

（発表順）

- ①安全安心部会
- ②保健医療福祉部会
- ③市民活動部会
- ④次世代育成部会
- ⑤まちづくり部会
- ⑥行政部会

(3) アドバイザー会議委員講評

全部会の発表後に、アドバイザー会議の各委員から、全体を通しての講評をいただいた。講評の要旨については以下のとおり。

①勝見委員

市民が単に市に所属するだけの所属集団から市政に参画する準拠集団になるためには、10年後の目標というスローガンを掲げるだけでなく、節目の振り返りにおいて、誰が、どのように、達成状況を評価・確認してくかを決め、実行していくことが大切であり、今後の取組が問われてくる。

②松井委員

いろいろな部会で重なり合う部分があるので、今後は、時間を共有して、課題・テーマ・方向性などを共に考えていく必要がある。また、計画はつくるだけでは意味がないので、第3次総合計画の評価も踏まえながら進めていく必要がある。

③菅委員

各部会で似たようなキーワードや同じような内容が議論されてきた一方で、それぞれの部会の特徴が出ていた。多くの部会でキーワードになった「協働」については、

もう少しイメージを共有する必要があると感じた。今後は、他の部会との意見交換や職員会議との意見交換なども取り入れながら進めていく必要がある。

④小浦委員

市民は入れ替わっていくものなので、価値観等をどうやって新しく入ってくる人に伝えていくかが大事である。「緑豊か」というキーワードひとつをとっても、受け取る人によってそのイメージは様々であるため、その中でもどうやって価値観を共有していくかが大切である。今後の進め方としては、職員会議との意見交換などにより事実関係を共有していく必要がある。

⑤今川委員

部会間で重複しているテーマもあるので、今後は部会間の交流、職員会議との意見交換などにより相互理解を深め、「市民会議から総合計画を変える」という当初からの目的のもと、市民の枠で提言を出すことに意義があると感じている。また、評価においても、結果と成果は異なるので、結果で評価するのではなく、数値化できないものは定性的な評価でも構わないので、きちんと成果を見極めていく必要がある。

(4) 副市長あいさつ

【第2部】

(5) 今後の進め方について

(6) 日程調整（部会に分かれて行いました。）

(7) 閉会

以 上